ほーきんと 通信

竹之高地探訪記
No.8

2014年５月５日号
発行：竹之高地町同友会
広報　原 和雄
hokinto　2014.05.05

蓬平町を歩く　（２０１４年４月２７日）

高龍神社奥の院に行こうと車で向かったが途中で通行止め、車を降りて、付近をちょっと歩いてみた。

数十年ぶりに猿倉岳の下まで来てみたが、迫りくる断崖がスゴイ、さすが鋸山から続く岩山である。栖吉谷と似た雰囲気がある。

自生していたものを、掲載します。

ニリンソウは後日花が咲いているのを確認に行きました。

次ページは猿倉に行ってきました。

手前：蓬平温泉　～　高龍神社　2014/04/27 撮影

カタクリとエンゴサク　2014/04/27 撮影

キクザキイチゲ　2014/04/27 撮影

アズマシロカネソウ　2014/04/27 撮影

ニリンソウ　2014/04/27 撮影

アズマイチゲ（東一華）　2014/04/26 撮影

（後日確認）ニリンソウ　2014/04/30 撮影

猿倉　ブナ林に行く（2014年５月５日）

猿倉のブナ林を見たいと、車で向かったが、ブナ林入口手前で、残雪があり通行不可能。（蓬平駐在～車で２０分　距離：６ｋｍ）

中腹あたりから道路脇にカタクリ、キクザキイチゲ、キスミレの花が咲き乱れ、きれいでした。車を降りて、少し雪道を歩いてブナ林に入ってきた。ブナの芽吹きの若緑色を見ながら歩き、足元にコシノカンアオイの花を見つけた。珍しいギフチョウの卵まで見つけた。

帰りにカタクリの白花を見つけて、春を満喫した１日でした。

猿倉のブナ林　2014/05/05 撮影

カタクリ（白花）　2014/05/05 撮影

コシノカンアオイと花　2014/05/05 撮影

ギフチョウの卵　2014/05/05 撮影

コシノカンアオイの花　2014/05/05 撮影

ギフチョウ　2014/05/04 撮影

上の写真はコシノカンアオイの花です。黒紫色で落ち葉の下に隠れていることが多く、見つけづらい。

左上の写真はギフチョウの卵です。ここ数日間で産み付けたと思われます。コシノカンアオイの葉の裏に産み付けられたばかりの卵、薄いグリーン色真珠の玉の様な光沢がある卵期は産卵から孵化までおおよそ２０日間くらいです。７月中にさなぎになり、冬を越し、早春に羽化して産卵します。

左の写真はギフチョウです（竹之高地で撮影）。羽を広げても５～６ｃｍの小さなチョウです。晴れた暖かい日に林内、空高く飛び回ります。